

～ 現地の対策本部 ～

たいさくほんぶしゃ

対策本部車

(拡幅型)

運転資格：中型自動車運転免許

設置人員：3人

設置時間：約20分

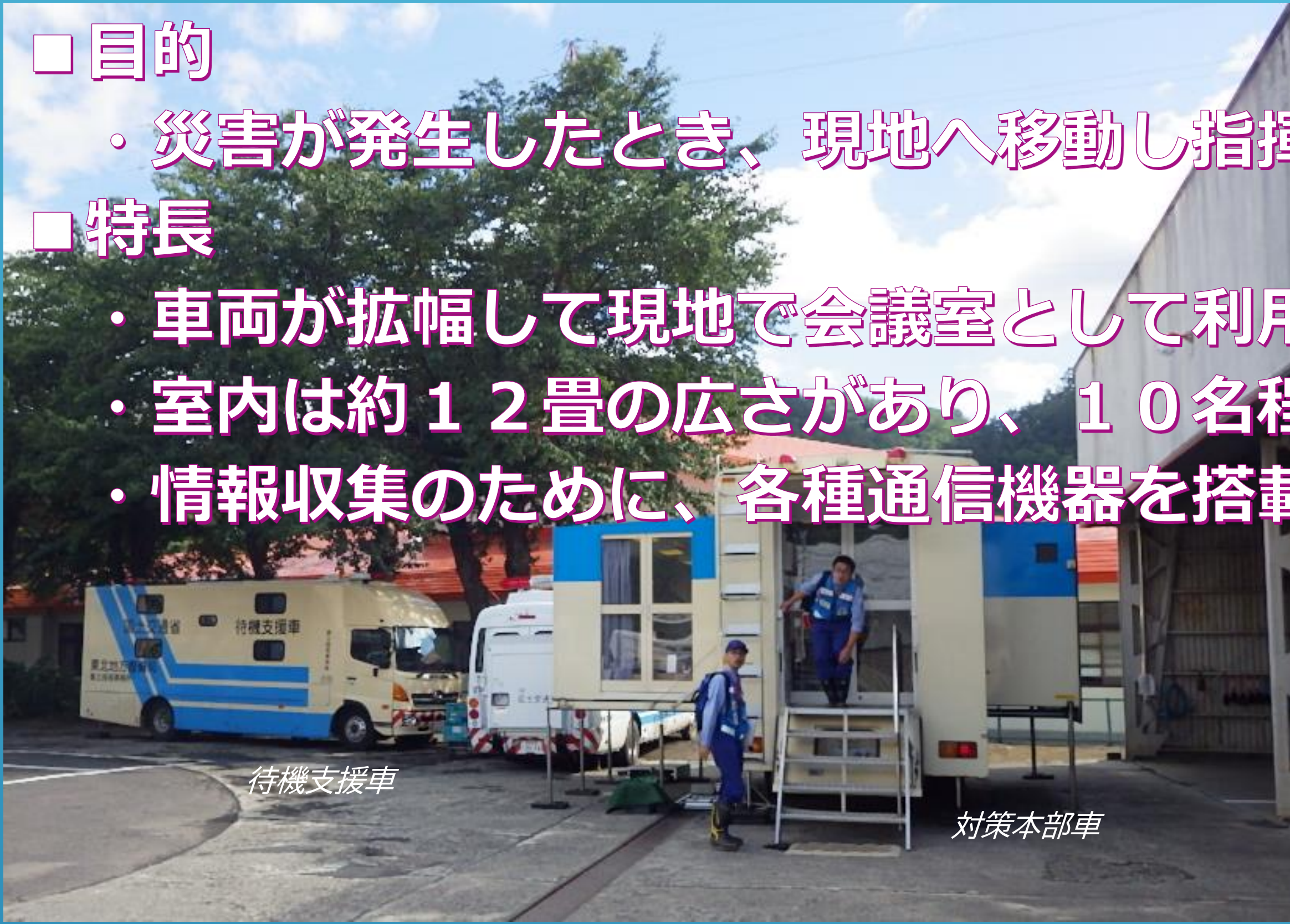


■目的

- ・災害が発生したとき、現地へ移動し指揮を行うため、基地となる車両です。

■特長

- ・車両が拡幅して現地で会議室として利用できます。
- ・室内は約12畳の広さがあり、10名程度で打合せができます。
- ・情報収集のために、各種通信機器を搭載しています。



待機支援車

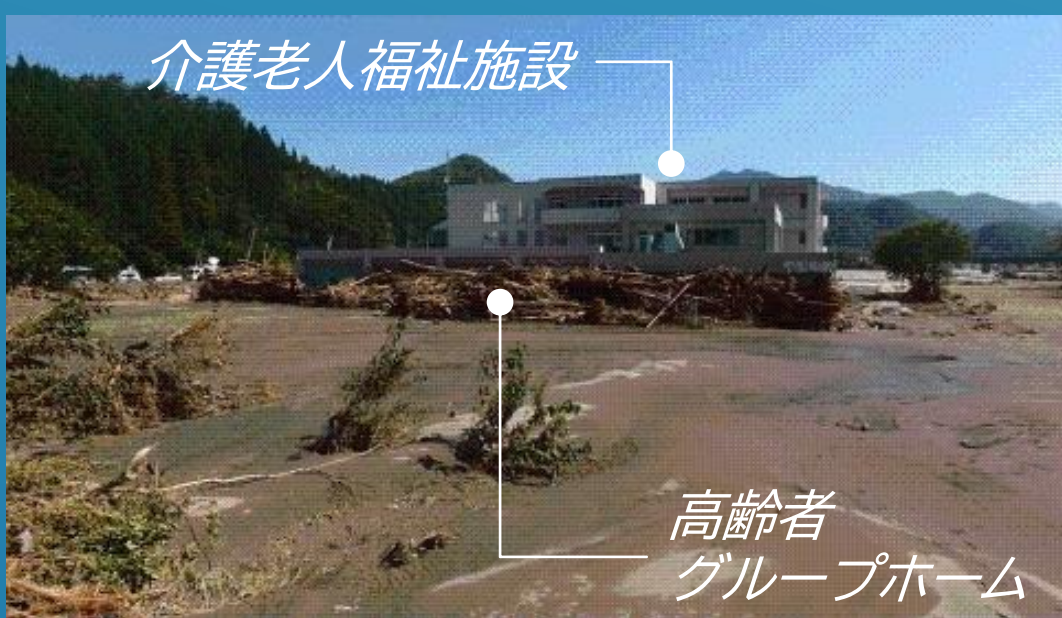
対策本部車



拡幅後
(車両後部)

■主な出動実績

平成28年台風10号



介護老人福祉施設

高齢者
グループホーム



岩手県
下閉伊郡
岩泉町

令和元年東日本台風



宮城県
大崎市

[車両内部]



平成28年8月に発生した台風10は、複雑な経路を経て、気象庁が1951年に統計を開始して以来初めて東北地方太平洋側に上陸し、東北地方に甚大な被害が発生しました。

[車両内部]



令和元年10月6日に発生した台風19号の接近、通過に伴い、東北地方の広い範囲に観測史上1位の値を更新する大雨を降らせ、甚大な被害が発生しました。

国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所

■車両寸法:全長5.33m×全幅2.49m[拡幅時5.45m]×全高3.63m ■車両総重量:10,350kg ■通信設備:衛星携帯電話、FAX等 ■発動発電機:1台(20KVA)